

## 第2回水戸市中心市街地活性化協議会 提案事業一覧 【プロモーション部会】

No.	提案事業名	新規	現計画へ位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の事業主体	概算事業費(千円)	市の考え方	備考
1	水戸クリエイティブウィーク		文化コンテンツ強化プロジェクト	<p>水戸の文化プログラムを集中開催することにより、交流人口の増加、ブランド強化などを狙うプロジェクト。</p> <p>(水戸の歴史や風土、文化への造詣を深める機会創出、クリエイティブな空気感、創造的な活動がしやすい街を創造することが狙い)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期間開催: 来水動機の創出・強化⇒来水者の増加</li> <li>・多ジャンルでの開催: ジャンル間交流人口の増加⇒新たな需要</li> <li>・関連開催の創造: まちなかと連動した多様なプログラムの可能性</li> <li>・文化イメージの向上: 魅力発信強化⇒長期的な水戸ブランド力の強化</li> <li>・水戸の魅力発信: 本物志向層への訴求強化、対内的認知度アップ</li> </ul>	<p>茨城県の県庁所在地である水戸は、水戸美術館や近代美術館をはじめ数々の文化施設を有し、近隣エリアだけでなく日本の文化をリードしてきました。水戸で活動する様々な文化プロジェクトが集結し、毎年9月に、2週間にわたり『水戸クリエイティブウィーク』を開催しており、2014年からスタートしたプロジェクトです。</p> <p>様々なジャンルの催しが一堂に会することで、水戸に行こうと思う気持ちや動機が生まれ、ジャンルや年齢層を越え横断的に楽しめる方が増えています。“文化的な9月の水戸”という新しいイメージも生まれはじめました。</p>	水戸クリエイティブウィーク実行委員会	2,300	A②	
2	学生プロジェクト「彰往考来」		文化コンテンツ強化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生が中心となり、様々なコンテンツや地元の文化などを学びながら、それらを組み合わせた、魅力的な水戸ならではの「若者が活躍する場」を創出する。</li> <li>・多世代交流(学生と企業、団体、学生同士など)を通して出会い学ぶ機会を作り、地域の担い手の育成や、将来就職や定住を考えた時に、都会ではなくまず「水戸」になってもらう。</li> <li>・他地域(県内外、海外など)の学生同士による交流を行い、情報発信や観光を含めた水戸の魅力を伝えることで、さらなる交流人口の増加を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・彰往考来とは、過去を明らかにして未来を考えるという意味で、徳川光圀が彰考館を命名する由来になった言葉です。水戸の文化、歴史、自然、観光地、建造物、文化遺産など(過去を明らかにする)を体験したり学ぶ。それらをベースに若者の視点で考え文化遺産など(過去を明らかにする)を体験したり学ぶ。それらをベースに若者の視点で考えたイベントや事業(未来を考える)を学生が主体となって企画から運営をする取り組み。</li> <li>・過去の事例             <ol style="list-style-type: none"> <li>① Mitokawaiiproject・Halloween party in Mito (2015～2019 ステージイベントと中心市街地のスタンプラリーを実施、2020メルカリ、カワサキハロウィンと共同でオンラインイベントを実施)</li> <li>・水FES(2019)</li> <li>水戸青年会議所と共同 水戸黄門まつりで実施</li> <li>・その他、借楽園で萩まつり関連イベントや、中心市街地にてご当地アイドルとの共同イベント他を実施</li> <li>② まちなか学生サポーターC's</li> <li>・南町三丁目商店会にてハロウィンイベントを実施</li> <li>・まちなか回遊記</li> <li>・水戸まちなかフェスティバルへの出展</li> <li>・水戸市商店会感謝フェスティバルへの参加 他</li> <li>③ マチノイズミ</li> <li>中心市街地に作った交流拠点(マチノイズミ)を主体に、フリーコーヒーや子ども食堂などを実施 他</li> <li>上記3団体など、今後も検討をしながら継続や新しい取り組みを進め、支援も含め実施していく。水戸市は会議や実施場所(公共施設、広場など)を無償で貸し出し(復旧費もとらない)。</li> <li>後援や協力(各団体、行政間の複雑な調整など)を積極的に行い、若者が輝く場の創出を支援する。</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水戸商工会議所(まちなか学生サポーターC's)</li> <li>・マチノイズミ</li> <li>・Mito kawaii project 他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Halloween party in Mito ⇒30万円/回</li> <li>※事業資金は企業等からの協賛、イベント等による収入(出店費など)</li> </ul>	B	現計画「学生サポーター事業」に集約

No.	提案事業名	新規	現計画へ位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の事業主体	概算事業費(千円)	市の考え方	備考
3	まちなか職業体験事業		まちなか職業体験事業	<p>・小中学生がリアルに職業を経験することで、社会性を学び自分力を高めるもの。</p> <p>・子ども達が自分達で「決める」「行動する」「結果を分析する」を通して、キッズニアの表面的な楽しい体験ではなく、「実体験」となり、地元の方(商店主や生産者)との出会いやつながりを通して、将来地元で企業する、働く人材を育てます。</p> <p>・商売の厳しさや楽しさ、親が頑張ってお金を稼いでいる大変さも経験してもらい、勉強会の中で金銭感覚、商売の肌感覚も養い、将来グローバル社会で戦う優位性を身に付けてもらう。</p>	<p>・小学校高学年～中学生までの市内(近郊)に住む学生が基本5名で1つの模擬会社を作り、セミナーや合宿を通して商売を学び、商品を企画し、株主(親など)と銀行(地銀など協力を得る)から借り入れをして、実際に中心市街地で開催されるマルシェやフェスティバル等のイベントで出店し、商売を行い、決算、会社解散までを行う約半年間のプログラム。</p> <p>・商売の先生は、中心市街地で実際に商売を行う方を中心にお願いし、子ども達が仕入れる商品も基本的に中心市街地で購入します。子ども達の考えたことに、大人は指示や答えを教えることはせず(危険なことは別)見守ることで、子ども達の自主性や責任感を鍛えることを仕向ける。</p> <p>・大学生や専門学校生が運営補助も検討します。</p>	NPO, 商店街組合, 商工会議所 他	<p>子ども達の参加費 5,000円×5人10チーム 計250,000円</p> <p>企業や商工会議所等からの協賛, 市や県からの補助金 計1,000,000円</p> <p>計1,250,000円</p> <p>支出内容: イベント出店時の費用(テント, 備品等), 合宿・セミナー・施設利用費・テキスト代, 広告宣伝費, 保険代, 映像記録費 他</p>	A②	
4	「アペリティフ in 水戸」事業		まちなか食文化発信事業	<p>○水戸の文化的発展, 経済的発展による, 中心市街地の価値向上</p> <p>○飲食店, 食物販, 流通各業種の活性化</p> <p>○首都圏からの来街促進</p> <p>○水戸アートのポテンシャルをアウトプットし, 注目度UP</p> <p>○来街者増による中心市街地のにぎわい創出</p>	<p>「アペリティフ」フランスのワインや飲み物を始め, 食文化全体のフラッグシップ</p> <p>日本では, フランス農業・農産加工業・林業省とフランス食品振興会(SOPEXAJAPON)が主催する「アペリティフ」イベントが東京で開催されていたのを契機に, 全国各都市でも, オリジナルのイベントを実施してきた。近年は東京では開催されていないが, 各地のイベントは継続されている。</p> <p>水戸市内では, 水戸まちなかフェスティバルのイベントの1つとして, アペリティフパーティーを実施してきた。俳優の辰巳琢郎さんを招いたワイントークイベントなど, 水戸での食文化発展, 新たな文化発信などに寄与してきた。</p> <p>また, “エスプリ”フランスの風を感じる試みとして, フランスの郷土料理の出品や, フランス車「ルノー」「シトロエン」「プジョー」の展示など, 幅広い企画を実施してきた。フランス食品振興会と連携し, 水戸市の実行委員会が企画。フランス食品輸入業者や飲食関連企業などを対象に協賛団体を広く募っていく。</p> <p>開催他都市との連携を活発化することで, 新たな文化形成に発展させていく。</p> <p>【開催都市】 仙台, 埼玉, 横濱, 太田, 静岡, 豊橋, 名古屋, 岐阜, 富山, 金沢, 琵琶湖, 高松, 土佐, 徳島, 広島, 宮崎</p> <p>○実行委員会結成 ○出展内容募集 ○協賛企業の募集 ○PR, チケット販売 ○会場設営, 運営 ○事業の実施場所・エリア ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸とその周辺</p> <p>○イベントの内容, 出店者数・参加者数など想定される規模 著名人や有名シェフを招いたパーティー(ホテル) フランス車やフランスの食, 工芸品などの展示 1日開催で参加者1000人(パーティーは50～100人) / 売上2,000千円</p>	有志による実行委員会	300	B	<p>現計画「まちなか食文化発信事業」に集約</p> <p>【要望】 ・実施主体を明確にする必要がある。 ・中心市街地内のワインを提供している飲食店の参加数増加の促進, 地元食材を使った料理の提供など, 中心市街地全体で実施する取組とされたい。</p>

No.	提案事業名	新規	現計画へ位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の事業主体	概算事業費(千円)	市の考え方	備考
5	まちなか催事申請マニュアルの整備 ※前回調査時の事業名：『まちなかプロジェクト実現センター(仮)』	新規	—	中心市街地での活動をスムーズにし、活性化、交流人口の増加やチャレンジしやすい環境を整える。	中心市街地で新しい催しを企画実施する際に、各種手続き先や助成などの情報、サポート体制などの情報を一元化、マニュアルとして整備し、提供する。 ウェブサイトだけでなく、印刷物も作成し、周知まで行う。 関係各所の連携と共有意識を促すとともに、結果的に相談から実施までワンストップで各種手続きが済む様を目指す。	水戸市、水戸商工会議所、水戸観光コンベンション協会 など	2,000	【前回評価】 D②	
								【今回評価】 D②	
6	空き店舗対策事業	新規	空き店舗対策事業	中心市街地の空き店舗率の改善を図るため、空き店舗物件と出店希望者をマッチングする機会を設けて、空き店舗を解消していくことで、商店街の連続性を創出し、中心市街地全体の魅力を向上させること	【まちなか空き店舗見学ツアー】 空き店舗をピックアップして、中心市街地への出店希望者を対象に、空き店舗を巡るツアーを開催。中心市街地の個性的で魅力的な物件と出店希望者のマッチングを行う。 あわせて、空き店舗補助金、制度融資などの説明も行って、出店に関するさまざまな情報を一度に得られる機会とする。 ・開催時期 7月、1月頃を予定(年2回実施) ・紹介物件 各回10件程度 ・対象者 水戸市中心市街地にある空き店舗への出店を検討している方 【まちなか空き店舗ナビ】 本HPには、不動産会社・不動産オーナーから得た基本的物件情報のほか、「物件のおすすめポイント」や「エリア特集」を掲載し、一部の物件には、動画で紹介している。物件情報を定期的に更新し、内容の充実をさせながら、空き店舗率の改善を図る。 ・事業収支 広報費(328千円) 更新料(132千円) 小計 460千円	水戸商工会議所、(株)まちなみとらぽ	460	A②	

No.	提案事業名	新規	現計画へ位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の事業主体	概算事業費(千円)	市の考え方	備考
7	水戸ワンブロック まちなかフェスティバル	新規	水戸まちなかフェスティバル	<p>新市民会館の完成に合わせ、水戸まちなかの魅力を伝えていかなければならないと思う。この機会を逃してしまうのは…最後のチャンスを逃してしまう事になる。その機会が直ぐそこまで迫ってきている。このチャンスに合わせ今準備を始めなければ手遅れとなる。</p> <p>そして今できることを考え、水戸まちなかフェスティバルを年一回の単発的なタイミングで行うのでは無く、今後の水戸まちなかの魅力を発信できる様な機会に考え直せば…と考えた。</p> <p>それが、ワンブロックまちなかフェスティバルを月一回程度実施するイベントである。その実施内容は、水戸のまちなかにある資源と繋がり手を結び進めていく。イベントを日常と繋げて資源が水戸に訪れる人と繋がり、共感する人(新規事業者)を増やすキッカケにもなり、水戸まちなかの魅力が成長する機会になる。</p>	<p>新市民会館が完成した時に、開催される催し物の内容に合わせて、新市民会館と連動して、まちなかで行うイベントの企画を考える。その際に意識しなければならないことは、それを実行するのは、それぞれのエリア(商店会等)になり、その資源を生かし日常と繋げることを考えなければならない。その際に、今後の展望としては魅力的な店づくりをしていかなければならないし、魅力的な街づくりをしていかなければならないと考える。</p> <p>①新市民会館との連動を感が水戸フェスの内容を考える ②それぞれのエリア(商店会)のワンブロックで資源が生きる内容で水戸フェスを実施する ③街中に訪れる人とまちなかの日常を繋げる事を考え、新規参加者を増やすことを考える</p>	(現)水戸まちなかフェスティバル実行委員会	10,000	B	現計画「水戸まちなかフェスティバル」に集約 ※提案事業内容を含め、今後、見直しを検討する。
8	水戸芸術館と中心市街地交流推進事業	新規	—	全国的に高く評価されている水戸芸術館と連携し、水戸芸術館と中心市街地との回遊性を高める事業を推進していくことで、「芸術・文化のまちづくり」につなげる。	<p>・事業内容: ①「Re MITO 100 vol.2」の発行 1,500 千円 ・限られた人が知る水戸の文化やスポットを収録したガイドブックの第2弾を発行し、水戸の新たな魅力をPR する。</p> <p>②水戸空間診断「dead or alive 続編」の作成 700 千円 ・水戸市の中心市街地に所在する建築物を調査したガイドブック「dead or alive」の続編を作成する。</p>	水戸市芸術振興財団、水戸商工会議所、中心市街地商店街、水戸市等	2,200	【前回評価】 B	現計画「中心市街地活性化支援事業」に集約 【要望】 ・冊子等を作成するのみではなく、活用策をあわせて実施すること。
								【今回評価】 B	※「水戸芸術館と連携した魅力づくり」等の施策名で位置付けることも検討。

No.	提案事業名	新規	現計画へ位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の事業主体	概算事業費(千円)	市の考え方	備考
9	まちなか学生サポーター事業		学生サポーター事業	学生サポーター組織として市内の大学、専門学校の学生を中心に結成。自主的に中心市街地のにぎわい創出につながる事業を若い感性で企画・実施すること。	<p>・事業内容: 毎月例会を開催し、にぎわい創出につながる事業を企画する。 また、商店街等とも連携し事業を実施する。</p> <p>(開催事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南町三丁目商店会にてハロウィンイベントを実施</li> <li>・まちなか回遊記</li> <li>・水戸まちなかフェスティバルへの出展</li> <li>・水戸市商店会感謝フェスティバルへの参加 他</li> <li>・場 所: 中心市街地のイベント, 飲食店など</li> <li>・会 員 数: 50名程度</li> <li>・事業収支 会議費 (150 千円)</li> <li>事業費 (350 千円)</li> <li>小計 500 千円</li> </ul>	水戸商工会議所	500	B	現計画「学生サポーター事業」に集約
10	まちなかゼミ&まちカル事業		水戸まちなかゼミ&まちカルの開催	まちなかを単なる消費の場とするだけでなく、まちなか全体をキャンパスに見立て、講座を開催することで、さまざまな層が中心市街地に足を運ぶきっかけをつくり、まち全体の賑わいに繋げる。	<p>・事業内容: 中心市街地の店主などが先生となり、専門家ならではのコツを教えることで、『お店』の魅力をPRする機会となり、『受講者』は無料で専門家の知識を学べ、『まち』は再来店を促すことで賑わいにつながるという「三方よし」の活性化事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場 所: 各参加店, マチノイズミ, 生涯学習センター, ワグテイルなど</li> <li>・事業収支 印刷費 (1,100 千円)</li> <li>広報費 (300 千円)</li> <li>事業費 (200 千円)</li> <li>小計 1,600 千円(内受益者負担特財50 千円)</li> </ul>	水戸商工会議所, 泉町二丁目商店街振興組合, 各参加店	1,600	A②	【要望】 ・中心市街地へ何度も足を運ぶ仕組みの構築を検討されたい。

No.	提案事業名	新規	現計画へ位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の事業主体	概算事業費(千円)	市の考え方	備考
11	学生支援事業	新規	—	学生が抱える問題(ヤングケアラー、貧困、奨学金、いじめなど)を、当事者、経験者、行政などつなぎ、少しでも支援や安心を届ける事業	<p>・街中には学校が多くあり、帰り道にもなっている中心市街地の通り沿いに、上記事業をする(気軽に立ち寄れる)場をつくる。支援員はなるべく専任とし、市民センターや市役所(出張所)には入りにくい学生でも、無料のカフェやWi-Fiを完備することで、滞留・入りやすくする。</p> <p>Wagtail やマチノイズミにそういう機能を持たせると早いかもしれない。プライバシー遵守等のルールも策定し、安心して相談できる環境にする。郊外に住宅が出来ている中で、街中の優位性として学生の通学路になっていること、商店も含め雑多性の中で入りやすい(郊外にボツンとあると目立つので行きにくい)ことがある。子ども達の未来がより明るくなることを望みます。</p>	水戸市, NPO 他	支援員30万円/月・人 他経費(家賃別途) 年500万円	【前回評価】 D②	
									取り下げ
12	納豆神社プロジェクト(水戸を納豆の聖地化するプロジェクト)	新規	—	<p>新型コロナが流行り始めた当初、茨城に感染者がいなかった時期がありました。SNSで納豆が有効なのではという噂が流れ、一時期スーパーから納豆が消えました。それ程、茨城(水戸)=納豆というブランドが出来上がっていると感じました。水戸に来る(来水と水戸の人は言います)観光客の方は、「水戸で納豆食べるぞ!」と思ってる割合が多いと飲食店の方から聞きます。</p> <p>しかし、市内歩いてもこれと言った納豆を使った名物がなく、納豆を使った料理を出すお店も多くありません。</p> <p>毎年、水戸商工会議所さんが旗振り役となり、納豆消費量全国1位を目指したり、納豆レシピを考えたりしています。</p> <p>3月10日の水戸の日には、納豆早食い大会が開催されるなど、様々な納豆に関する施策が行われてますが市内の子ども達は、なぜ納豆が有名なのか知らない子が多く、食育や歴史も含めて伝えていかなければならないと感じました。子ども達に歴史や文化を伝えていく方法として、「お祭り」があると思います。お祭りには祭る対象物が必要です。</p> <p>そこで、納豆神社を作ることを思いつきました。</p> <p>納豆神社は観光スポットとなり、さらに水戸が全国的に注目されるきっかけとなります。</p> <p>また、水戸を納豆の聖地としてプロモーションをし、海外での納豆ブームもあることから、茨城空港とのタイアップなど観光客の誘致も行います。市内には納豆横丁や納豆ストリートが生まれ、ついには茨城の大豆生産量が増え、耕作放棄地が集約された大豆畑と生まれ変わり、新たな雇用と産業を生み出します。</p> <p>納豆=粘る=粘り強い→勝負の神様というストーリーで、茨城ロボッツや水戸ホーリーホックなどのスポーツ関係団体と連携し、試合観戦の前に祈願をするサポーターを街中に周遊させる仕組みなどを作ります。その他、受験や勝負事を控える方向けにPRを行います。</p> <p>このプロジェクトを通して、観光振興など地域がより元気になることを目指したいと思います。</p>	<p>・納豆神社を水戸市中心市街地(周辺含む)に建設する</p> <p>・納豆のお祭りを開催する</p> <p>・年に1度、納豆年間消費量の順位発表の前の日に祈願祭を行う</p> <p>・海外に向けた情報発信、茨城空港やJRとのタイアップによるプロモーションによる観光客誘致</p>	水戸市, NPO 他	300万円以上(神社建設の最低限費用※鳥居1つと小さなお社)	【前回評価】 D①	
									取り下げ

No.	提案事業名	新規	現計画へ位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の事業主体	概算事業費(千円)	市の考え方	備考
13	魅力的な店づくり支援事業	新規	—	<p>新市民会館の完成に合わせ、中心市街地活性化協議会として目指していく事を考えると、魅力的な街づくりイコール魅力的な店づくりになると思う。それには、水戸の街なかを楽しんでもらう日常を創出することが大切だと考える。</p> <p>水戸の街なかには、街なかを象徴するようなエリア(商店会等)は存在する。ただ、人気を集めている店舗は数少ない。</p> <p>今後は、一事業主が手をつなぎ、文化・資源を生かした店づくりをしていく事、サポートすることが重要だと考える。そして、水戸の街なかに訪れた人々に対して、水戸の街なかに魅力的な店舗が存在し、水戸の街なかに来ると楽しい時間が過ごせて、水戸の街なかに来る意味がある事を伝えていきたい。</p>	<p>人気のある商店街や観光地などに訪れてみると、必ず魅力的な店舗が存在する。それがエリアの価値も高めている。その様な店舗や施設が水戸の街なかにも無いと、新市民会館にたさんの方が訪れたとしても、街なかに誘導する事が出来ない。</p> <p>文化的な街には、それ相応の商業施設が必要である。以前は大きな商業施設がいくつも点在していたが、現在の街なかにはそれがなくなり、魅力的な店舗や施設の数の少なさが露呈している。</p> <p>だからこそ、この街なかで新しく出来る店舗や事業者を応援するような仕組みをつくりたい。街の中でチャレンジしたくも、まず何をすればいいのかわからなければ二の足を踏んでしまう。だが、何かをしなくてはならないと言うサービスではない。仲間になって貰うシステムである。</p> <p>具体的には、ネットワークをつくり広報的な支援や、縦横の繋がりを持つイベントを行う。広報では、Web などを利用した個展のPR や、ペーパーを利用してのPR をネットワークの一部としてサポート、街なかに特化したイベントを行いリピート率を高める事を狙う。</p>	<p>まちの駅ネットワーク (水戸商工会議所)</p>	2,000	【前回評価】 <b>C</b>	<p>No.15「まちの駅ネットワーク推進事業」に集約</p>
								【今回評価】 <b>B</b>	
14	仮称並木通り整備のための社会実験事業	新規	—	<p>新市民会館建設後の京成百貨店脇(京成通り商店街)における景観向上と回遊促進を目的に、建設前の景観づくりのため街路樹とオープンテラス風にベンチ等の設置を企画する。</p> <p>また、継続的に行うことによって、中心市街地における歩いて楽しめる空間づくりの機運醸成を図り、再開発事業にも結果を反映することで、新たな賑わいの創出につなげる。</p>	<p>・事業内容: 令和5年に開館予定の新市民会館を中核とする泉町1丁目地区は中心市街地から西の谷、偕楽園、千波湖へと続く結節地点であり、重要性が高まっている。同地区における再開発後の街並みを見据えた、歩いて楽しい街並み景観づくりの事業を行う。</p> <p>・場 所: 京成百貨店脇          ・開催時期: 黄門まつり、水戸偕楽園花火大会の開催時期          9月第1週から第3週にわたり開催予定の千波湖川床の開催時期          ・事業収支 広報費(250千円)          事業費(1,250千円)          小計 1,500千円</p>	<p>水戸商工会議所、泉町地区街並み景観向上・回遊促進事業実行委員会等</p>	1,500	【前回評価】 <b>B</b>	<p>現計画「中心市街地活性化支援事業」に集約</p> <p>※事業内容の充実が図られれば、一つの事業として位置付ける可能性あり。</p>
								【今回評価】 <b>A③</b>	

No.	提案事業名	新規	現計画へ位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の事業主体	概算事業費(千円)	市の考え方	備考
15	まちの駅ネットワーク推進事業	新規	—	水戸の街を魅力ある元気な街にすることを目的に、まちの駅事業を通じて水戸を訪れた方が楽しく、安心して過ごせる空間作り、街づくりを目指す。また、まちの駅ネットワークによる、人と人の交流、地域と地域の交流を推進することを目的に、「まちの駅連絡協議会」に加入するとともに、まちの駅ネットワークの輪を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容: まちなかの賑わい創出の一環としてまちの駅みとネットワーク内の連携事業や他の団体が行う事業、水戸商工会議所の中心市街地活性化事業等と連携し、来街者へまちの駅をPRし、ホスピタリティを高めていく。</li> <li>・まちの駅みとネットワーク内での連携</li> <li>・おもてなし事業(まちなか情報提供、傘貸出、トイレの利用、休憩スペースの利用等)</li> <li>・他団体との連携(学生サポーターC's など)</li> <li>・他のイベントとの連携</li> <li>・まちの駅みと内でのイベント実施</li> <li>・まちの駅機能の拡充についての検討</li> <li>・まちの駅数 14 駅</li> <li>・事業収支 ネットワーク推進費(790 千円)</li> <li>ネットワーク運営, 研究費(210 千円)</li> <li>小計 1,000 千円</li> </ul>	水戸商工会議所, まちの駅みとネットワーク協議会	1,000	【前回評価】 <b>B</b>	現計画「中心市街地活性化支援事業」に集約
								【今回評価】 <b>A③</b>	※No.13「魅力的な店舗づくり支援事業」を当事業に集約する。
16	水戸まちなか寄席	新規	—	中心市街地への誘客や消費喚起、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている中心市街地のホテルへの支援ならびにコミュニティスペースや空き店舗の活用を目的に、寄席を開催する。また、「笑い」による健康増進、免疫力向上にもつなげ、笑いの力でウィズコロナの水戸を元気にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容: 中心市街地において寄席を開催する</li> <li>・開催頻度: 年間1回</li> <li>・場 所: 中心市街地のホテル、コミュニティスペース、空き店舗などを想定</li> <li>・開催規模: 100 名前後</li> <li>・事業収支 事業費(1,400 千円)</li> <li>会場費(200 千円)</li> <li>広告宣伝費(300 千円)</li> <li>通信費(50 千円)</li> <li>雑費(50 千円)</li> <li>小計 2,000 千円</li> <li>(内受益者負担特財600,000)</li> </ul>	水戸商工会議所	2,000	【前回評価】 <b>B</b>	現計画「中心市街地活性化支援事業」に集約
								【今回評価】 <b>A①</b>	コミュニティスペース等の確保、活用などがあるか会議所へ確認する。



No.	提案事業名	新規	現計画へ位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の事業主体	概算事業費(千円)	市の考え方	備考
17	茨城ロボッツ来場者回遊促進事業	新規	—	<p>プロバスケットボールチーム茨城ロボッツは、B1に昇格し、今シーズンからさらに県内/県外から多くの来場者が見込まれる。市街地に所在するアダストリアみとアリーナをメインアリーナとしていることから、集客を試合の前後で市街地回遊へ誘導することは、地域経済に大きく貢献することになると考える。</p> <p>そこで、アプリ等をつくり会場と中心市街地を歩いて回るしほみを構築して、歩行者通行量の増加や、飲食店・観光地等への訪問促進、まちなかの賑わい創出につなげる。</p>	<p>・事業内容 専用のアプリを開発。 アダストリアみとアリーナ、市内観光スポット、市内飲食店(中心市街地中心)などにチェックポイントをもうけて、数カ所まわるとポイントがたまり選手のオンライン上でオリジナルカードを獲得し収集することによって継続活用を促すことができるにする。 歩数に応じてポイントがたまるしほみを設けてポイントをためると店舗からサービスを受けることができる。 新市民会館が開館した際には、同館との連携も視野に入れる。</p>	茨城ロボッツ、水戸市、水戸商工会議所、水戸観光コンベンション協会、中心市街地商店街他	2,000	A①	
18	エンカルミト事業	新規	—	<p>“エンカルな街” “サステナブルな街” のイメージ効果により、下記効果を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○都市間競争力の強化 選ばれる街へ メディアや自治体、企業が視察に来て参考にする街</li> <li>○「健全で豊かな消費生活都市宣言」「水戸市消費生活条例」の浸透、活用 水戸らしい快適でにぎわいのある持続可能なまちなかへ</li> <li>○新たなコミュニティの交流 首都圏からの移住者増、来街者増</li> </ul>	<p>①「健全で豊かな消費生活都市宣言」「水戸市消費生活条例」の浸透 ② まちなかSDGs マップ作製 ③ 消費者志向自主宣言、SDGs 宣言の推進 ④ 外部へのPRと、サステナブルツアー開催などによる集客 ⑤ SDGs 未来都市へ取り組み</p> <p>○支援処置 水戸市や茨城県のSDGs 関連事業 水戸市や茨城県の生ごみ処理機購入助成金制度 経産省、農水省、財務省などの地域活性化関連事業</p>	民間事業者グループ 水戸市	—	【前回評価】 D②	
								【今回評価】 C	

No.	提案事業名	新規	現計画へ位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の事業主体	概算事業費(千円)	市の考え方	備考
19	水戸まちなかへ移住促進事業	新規	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中心市街地の居住人口増加</li> <li>○ 昼間人口の購買層拡大, 土日祝日の歩行者通行量増加</li> <li>○ ビジネスパーソン, 起業家の交流による, 新規投資・新規ビジネスの呼び込み</li> <li>○ 共助, 公助の仕組み構築</li> <li>○ 水戸の魅力再発見, 再発信</li> </ul>	<p>首都圏を始め茨城県外から, 転入してくる動きを増やす。移住を考えている人や移住の必要がある人に対して, 「水戸の情報」が届いていないと仮定し, 調査, 課題の炙り出し, 課題解決方法の策定と実施を下記の要領で進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 移住の種類や対象者, コンセプトを確認</li> <li>② 水戸市や茨城県のこれまでの移住政策をアーカイブ化</li> <li>③ 他の自治体が展開する移住政策をチェック</li> <li>④ 都内などの移住相談窓口, ネット, 雑誌などをリストアップ</li> <li>⑤ 水戸移住のメリット・デメリット整理, 紙・デジタル媒体でまとめ</li> <li>⑥ 本社移転を検討している企業への水戸移転を提案</li> <li>⑦ 都内などの移住相談窓口, ネット, 雑誌などへ, 水戸アピール</li> <li>⑧ 茨城県東京事務所や都内の関係機関と連携</li> <li>⑨ 首都圏在住者へアンケートし, 移住促進助成策として足りない要素を行政へ提言</li> <li>⑩ PDCA で, ターゲットや助成策を修正</li> </ol> <p>○ 支援処置 内閣府, 総務省などの地方創生総合戦略関連の助成事業</p>	民間事業者	500	A③	※実施主体について, 民間事業者のみではなく, 水戸市も連携しながら実施する必要がある。
20	水戸中心市街地オンライン支店事業	新規	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中心市街地の商取引規模拡大</li> <li>○ 水戸の商業の魅力再発見</li> <li>○ 水戸の魅力発信によるからの来街促進</li> <li>○ 共助, 公助の仕組み構築</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① インターネットサイトの運営事業体を構築, もしくは委託</li> <li>② 中心市街地で商内を展開する事業者が販売する商品やサービスを掲載したインターネットショッピングサイトを開設</li> <li>③ 各事業者が販売を希望する商品やサービスを提案。一定の基準をクリアした商品やサービスを掲載するページを作成。商品やサービスの紹介ページに, 提案事業者の紹介やリンクを掲載</li> <li>④ 注文が入ったら, 各事業者が, 共同倉庫に商品を持ち込む</li> <li>⑤ 注文内容が共同倉庫に揃ったら, 一括で配送</li> <li>⑥ 決済は, サイトの運営事業体が消費者との間で交わす</li> <li>⑦ 運営事業者と商品やサービスを提供した事業者間で決済</li> <li>⑧ サイトのPR を, 水戸のPR として, 大都市圏で実施。茨城県東京渉外局や, 認定NPO 法人ふるさと回帰支援センターなどと連携</li> </ol> <p>○ 支援処置 経産省, 農水省, 財務省などの新型コロナウイルス対策の助成事業</p>	民間事業者グループ 商店街振興組合 商店会	500	【前回評価】 C	※実施主体, 財源確保, 仕組みの構築について研究し, 明確にすること。
<b>取り下げ</b>									

No.	提案事業名	新規	現計画へ位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の事業主体	概算事業費(千円)	市の考え方	備考
21	水戸学の道への休憩処の設置及び大手門広場を活用したおもてなし	新規	—	弘道館周辺は、大手門、二の丸角櫓などが完成し、現在の水戸において、観光客を誘客できる最も魅力的な空間となっている。これらの施設を繋ぐのが、明治維新150周年記念事業で整備された水戸学道である。水戸学の道を光園ルート及び慶喜ルートで水戸駅から弘道館までを歩いてみると、休憩処が一切ないことに気が付く。最短でも40分程度の道中にベンチなど休むところがない。 そのため、観光客などが気軽に休むことができるベンチを設置する。 また、大手門広場は、トイレしかない。空間として余白があることから、大手門広場における観光客などへのおもてなしとして、週末などにマルシェを開催する。	○事業内容 ① 水戸学の道に、ベンチなどの休憩処を設置し、気軽に休めるようにする。 ② 大手門広場を有効活用し、週末などにマルシェ(ケータリングカーや簡易テントなどを設置し、飲食ができるようにする)を開催する。  ○期待する効果 ① 歩きやすい環境の提供 ② おもてなしによる水戸市へのリピーターの確保	水戸市	3,000	【前回評価】 <b>A③</b>	【事業名】 弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの一環 (現計画の期間延長に係る変更の際に、新規事業として追加)
								【今回評価】 <b>B</b>	現計画「弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくり」に集約
22	まちづくりデータ収集拠点の構築	新規	—	①市政策・施策への応用 ②中心市街地活性化施策の効果測定 ③学術研究・民間ビジネスへのデータ提供・データの公開	新市民会館に設置予定の外部監視カメラに、分析機能を導入し、歩行者通行量・歩行者の属性(男女・年齢・服装等)・歩行者の動態・バスの乗降数・自動車通過数(自動車・トラック・バス・二輪車等別)等について、24時間リアルタイムで把握・分析することにより、正確なデータを把握し、データ(エビデンス)に基づく、スマートなまちづくりを推進する。  ※AIによる画像認識を活用した通行量・交通量調査サービスを活用 ※追加的な設置候補<水戸駅北口ペDESTリアンデッキ、常陽銀行本店前、水戸中央郵便局前、大工町交差点>、既存の人力による歩行者通行量調査と費用対効果を比較し、大通り等の各所に設置する。 ※治安向上等の副次的な効果も見込める。	水戸市	システム導入費 10,000千円 システム運用費 2,000千円	【前回評価】 <b>D②</b>	※中心市街地における基礎データを収集する「手段」であるため、具体的事業としては位置付けない。
								<b>取り下げ</b>	

No.	提案事業名	新規	現計画へ位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の事業主体	概算事業費(千円)	市の考え方	備考
23	水戸まちなかMICE誘致推進事業	新規	—	<p>コンベンションや展示会・商談会、研修旅行など(MICE)誘致と開催を通じて、下記の効果を見込む。</p> <p>コンベンションで注目しているのは、政財界の団体、経済団体、業界団体の総会や全国大会で、定期的に開催されているもの。全国各地を持ち回り開催していることが多く、他都市開催ではなく、水戸に呼び込む。</p> <p>研修旅行は、企業の研修がターゲット。どこかの都市で開催されているものを、水戸市内へ引き寄せる。水戸開催のメリットを提示。企業の総務人事、福利厚生部署へ働きかける。</p> <p>○宿泊、飲食、交通、小売各業種の売上向上 ○水戸らしいイノベーション、水戸発ビジネスの機会創造 ○水戸市の都市競争力向上 ○既存ストックの掘り起こし、利活用 ○市民会館の活用をてこに、水戸市が持つ潜在能力を、可視化</p>	<p>○歴史文化施設を、他都市のユニークベニューと比較し選ばれるように整備 ○民間事業者の取り組みを掛け合わせたエクスカージョンの整備 ○MICE 主催者のうち民間企業をターゲットとして、キーパーソンへの営業 ○企業が主催する、技術習得を目的とする研修会、新入社員研修、役職研修を誘致 ○50人以下の小規模な開催を年間20回、100人以下20回、100人以上10回 ○市民会館やアダストリアみとアリーナを使用した5000人規模の会議も誘致 ○事務局の印刷代、交通費、会議費、接待交際費などは、ツーリズム関連補助金で賄う ○受益者負担か公費負担か要件等</p>	官民一体の協議会	200	<p>【前回評価】 <b>B</b></p>	<p>現計画「コンベンション誘致活動の推進」に集約 ※事業名をコンベンション活動の推進とするか、MICE誘致推進事業とするか、今後整理する。</p>
								<p>【今回評価】 <b>A③</b></p>	<p>※水戸市では、MICEを含めコンベンションと呼んでいるため、本計画における表記もコンベンションに統一する。 今後、コンベンションではなく、MICEと表記することが水戸市として決定した際には、変更の手続きの上で、表記を修正する可能性がある。</p>
24	夜・梅・祭	新規	※水戸の梅まつり	<p>夜・梅・祭は、日本三名園のひとつである偕楽園と水戸藩の藩校弘道館で開催する水戸の梅まつりに連動して実施する。夜間に開催することで、新たな魅力向上へつなげ、市内へ宿泊してもらうことを目的とする。</p>	<p>・120年以上の歴史をもつ水戸の梅まつりは、金沢の兼六園・岡山の後楽園とともに日本三名園のひとつである偕楽園と、近世日本の教育遺産群 藩校教育の拠点で日本遺産に認定された弘道館で開催。その梅まつり会場である「弘道館」を夜間に開放することで、ライトアップされた梅と弘道館の新たな魅力を楽しむことができるイベント。</p> <p>・夜間まで水戸市内へ滞在することで、観光客の宿泊者増加につなげる。</p> <p>【開催期間】2月中旬～3月下旬 【場所】弘道館</p>	水戸の梅まつり実行委員会 もしくは(一社)水戸観光コンベンション協会	9,000	<b>B</b>	<p>現計画「水戸の梅まつり」に集約</p>

No.	提案事業名	新規	現計画へ位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の事業主体	概算事業費(千円)	市の考え方	備考
25	地域電子通貨MITO 銭の導入	新規	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済を地域内で循環させ、域外への資金流出を減らす</li> <li>・地域貢献が見える化して、シビックプライドの醸成を図る</li> <li>・新しい住民が増えてくる中で、地域コミュニティを再構成する</li> </ul>	<p>地域通貨を導入し、「地域経済」と「地域コミュニティ」を活性化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレミアム商品券をデジタル化し、地域通貨の発行・利用・回収のしきみを作る。</li> <li>・市公共施設の利用料として使用できるようにする。</li> <li>・健康ポイント・環境ポイントなど地域ポイントを導入・発行する。</li> <li>・町内会への加入促進のためのポイント発行</li> <li>・実績のある地域通貨プラットフォームを利用することで導入までの時間を短縮する。</li> </ul> <p>また、ブロックチェーン技術を利用し、安全性の向上を図るとともに運用コストを削減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の利便性を考慮し、スマホアプリとカードを併用する。</li> <li>・利用状況を可視化し、加盟店などに提供することにより、モチベーションの維持を図る。</li> </ul> <p>※中心市街地で試行・実証し、活性化につなげ、長期的には、水戸市全域への応用を目指す。</p>	<p>発行主体：水戸市</p> <p>運営は：民間(委託)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度：2,000万円(導入費用800万円、年間運営費用1,200万円)</li> <li>・年間運営費用：システム利用料+民間委託料 次年度以降：1,200万円(年間運営費用)</li> <li>※5年間で、6,800万円</li> <li>※ポイント原資別途必要</li> </ul>	<p>【前回評価】 D①</p> <p>【今回評価】 C</p>	